TPPに関する主要閣僚会議(第17回)の開催について

平成29年1月20日
内閣官房

本日(1月20日(金))9時10分から約10分間、官邸4階大会議室において、TPPに関する主要閣僚会議(第17回)が開催されたところ、概要は以下のとおりです。

1. 主な参加者

菅	義偉	内閣官房長官
石原	伸晃	経済再生担当大臣
岸田	文雄	外務大臣
麻生	太郎	財務大臣
山本	有二	農林水産大臣
世耕	弘成	経済産業大臣
野上	浩太郎	内閣官房副長官
杉田	和博	内閣官房副長官

2. 主な議事内容

- 石原経済再生担当大臣から、TPP協定の締結に先立ち必要となる関連の政省令等の準備が整ったことを受けて、本日、TPP協定締結について閣議決定するとともに、寄託国であるニュージーランドへ国内手続完了に係る通報を行う旨説明した。
- 石原大臣は、先の国会で御承認頂いたTPP協定の発効、そして自由で公正な共通ルールに基づく自由貿易を主導するため、政府として、今後も様々な機会を通じて、各国に対して自由貿易の重要性に対する共通の土台の構築、経済連携の推進などに向けて粘り強く取り組んでいく旨発言した。
- 岸田外務大臣から、本日、在ニュージーランド日本国大使館を通じてニュージーランドに通報を行う旨、及び、TPP協定の早期発効に向け、関係国との連携を一層強化するとともに、米国に対しても、TPPの戦略的・外交的意義を粘り強く説明していきたい旨の発言があった。

(以上)